

越野建設

お客様のライフプランに合った不動産活用を提案する

越野 充博 取締役社長

——2012年3月で創業100周年を迎えますが、抱負は

当社は東京都北区を中心に、個人住宅、オフィス・テナントビル、工場・学校・地域施設などの企画から設計、施工までを手がけています。「お客様の瞳（かまど）の灰まで掃除する心がけを持って」という言葉を、代々受け継いできました。100年とは結果であり、一つひとつの商いの積み重ねです。今日一日、真剣に仕事に取り組むからこそ、振り返ればそこに歩んできた道筋があるのです。でも先に、このまま道が続いているとは限りません。そこで創業100年を期して、短期・中期・長期にわたるマーケティング戦略を、全社を挙げて作成しているところです。

——御社の技術とこだわりについて教えてください

当社は100年の歴史の中で「コンクリートの建物をしっかり造っていく」という思いを大事にし、その裏付けと

なる技術を磨いてきました。密度が高く耐久性の高い独自の「結晶化コンクリート」（登録商標申請中）をすべての自社設計物件に採用し、手間のかかる「再振動」工程を加えることで、コンクリートと鉄筋との付着力、防水性、ひび割れ防止効果などの向上を図っています。

——いま力を入れている商品は何ですか

コンクリートの持つ強さと優しさを追求する建築の総合ブランド「ヴェージュ」が、今年で10年目を迎えました。耐久性のある資産価値の高い建物、火事や地震に強い都市型防災住宅を目指しており、オリジナルオーダーの自由設計、お客様のライフサイクルや将来のリニューアルに対応した長寿命などの特徴があります。これまで培ってきた技術に加え、ブランドをツールとして活用することで、「当社はこうやっていきます」という姿勢を内外に広く発信。

社内全体が、「各セクションがそれぞれの立場で、お客様との約束を果たしていこう」という気持ちになっていければいいと思っています。

——不動産活用のあり方についてどう考えますか

「お客様の土地にいかに容積いっぱい建物を建てるか」ということしか提案してこなかった建設会社の姿勢を改める必要があります。土地がどう利用されるかは、土地を持つ方のライフサイクルや人生設計の中の位置取りで決まってきます。その意味で私たちは、長期にわたって使っていただける資産の形成に携わっているものであり、お客様の大切な人生の一部に関わっているという責任感を持つべきです。